

新板  
繪入

書世御加名家  
二之卷

13  
1953  
2



南世御伽草子

二之巻目錄

第一 荷控にぎひ一 幼こ子こ程ほどと 出い生せい男おとこ

但馬

付

世淑よとよりりとと出い人ひと形かたち乃のああままいい。  
ななびびくくとと見み脈みやくてて志しままるる医い者しやはは家け。  
匙しううかんかんししととよよかかのの合あわわいい。

竹屋たけや三衛門さんゑもん  
湯嶋

第二 傾かたむ城しろへへとと化ますす靴くつのの生せい所ところ

付

いいつつもも所ところ字じのの洞どうのの神かみををぬぬききのの果み。  
親おや方かたとと病やまいいよよりりととれれぬぬ浮うききをを。  
全ぜん盤ばんとと落おちちととああららをを拵しらははねねのの位ゐ。

第三 山路の急なほど相撲の真

付、朋友のゆづるをきくこと小指い。情よつる力は踏付られぬ首の懸

第四 一会の夫先に命の法とら

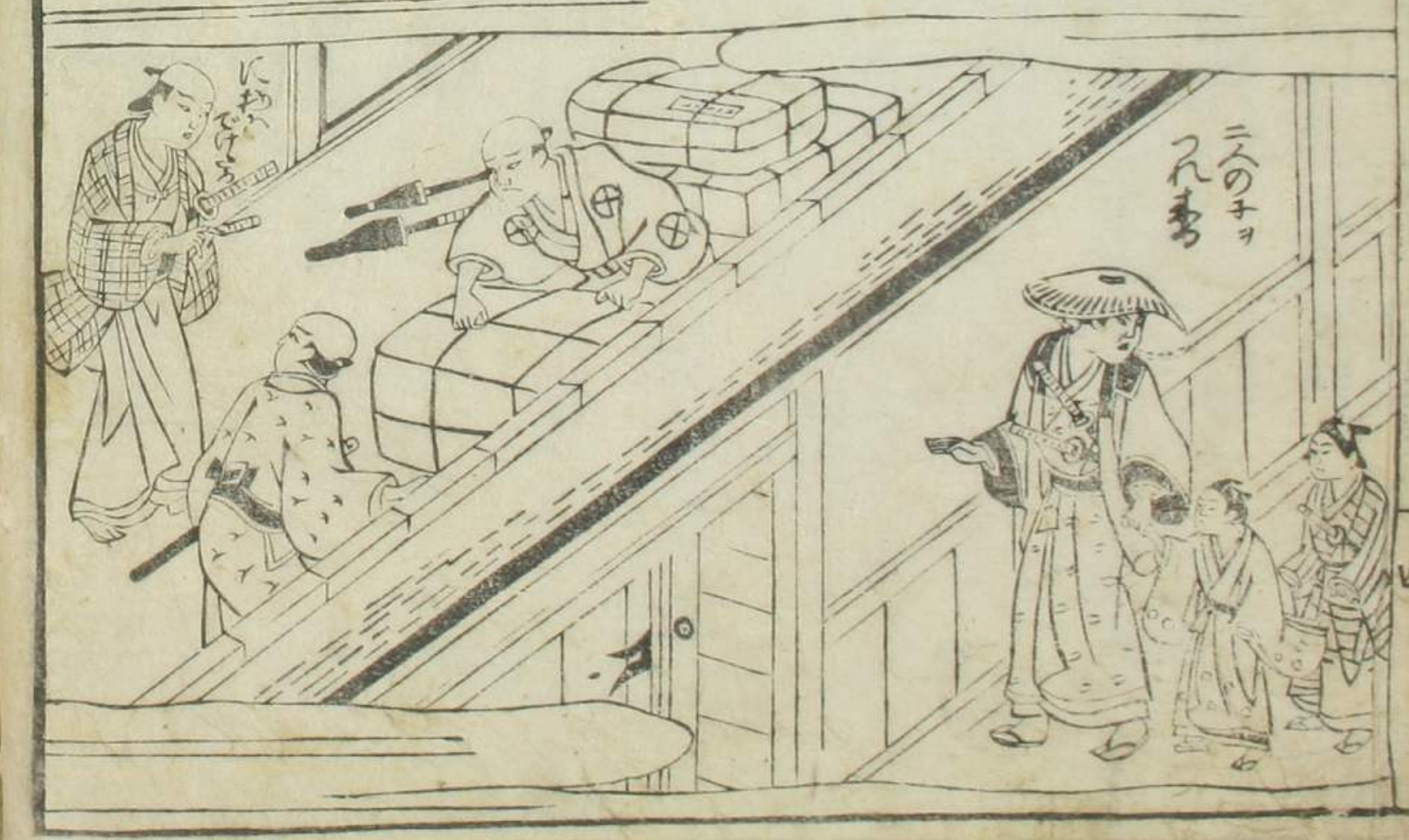
付、子取一りごまゝ 寢後の一言。帝立の息を絶えふかゝる夫の綱

第一 府控の種子をくちる生男

初の水は花の名前と云ふへー雲林院と云ふ事。京は信後。是れ今年十六はかりける。鳴呼若わりける。是れ母の仲矣。此は高直。お書の方そ容を容えぬ。のと觸りし。が先は。是れ我の志。弟は信代。最勅よのかりし。なり。む。た。是の。際。は。わ。の。う。ふ。見。初。た。あ。ぬ。あ。ひ。ど。かり。ま。は。公。家。は。は。相。心。ま。は。後。之。助。と。ま。つ。か。う。ず。和。奇。た。ぬ。と。も。ふ。げ。や。う。男。れ。わ。り。と。信。信。の。い。れ。あ。ま。り。に。あ。さ。い。と。か。り。我。よ。う。り。て。の。方。へ。交。ひ。の。書。て。つ。る。い。れ。ま。と。ま。り。あ。た。ら。し。け。り。や。う。ま。さ。後。を。助。い。ら。ま。ぐ。く。信。信。よ。う。の。り。て。年。さ。つ。う。て。あ。い。の。の。な。く。ま。と。つ。い。し。げ。ら。わ。の。ご。と。ぬ。れ。が。い。中。く。ま。い。だ。よ。ま。り。し。が。情。よ。つ。る。か。う。い。ま。そ。つ。あ。ふ。い。ま。も。向。ま。さ。て。人。を。れ。ぬ。あ。い。と。そ。あ。の。自。後。が。方。光。

そのびくよおわいなる。まじりか申ま出木削りてのわろ。典業醫術  
 とつらせざるは。路りきりける。雲林院の行き。菽井龍  
 安と。時よわらる。若醫ありして。平家の一門。安かれ。申出敷へ  
 めされ。脉神と。わかれに。考も。懐胎と。とせ  
 た。おまうて。業と。まわら。ずと。果て  
 懐妊よ。おまうし。奇妙の名人かりて。法橋と。あ  
 れ。めら。れ。あ。永く。婦書と。な。ら。あ。の  
 方。は。日。法。信。と。人。志。と。ら。り。身。な。れ。と。申。ま。の。標。と  
 一。と。思。も。ひ。く。地。と。か。と。と。法。橋。あ  
 方。も。婿。一。の。思。ま。け。法。は。ぬ。も。別。今。の。小。法。師  
 信。後。かり。げ。子。申。二。方。も。あ。の。法。橋。病。死。と。か。と。い  
 内。お。れ。あ。家。と。わ。れ。は。先。の。法。橋。命。法。橋。も。と。と。あ。せ。り

申。ま。者。は。賢。く。法。信。と。仲。人。と。今。の。伊。東。の。婿。と。なり。子。た。三  
 人。ま。う。け。ゆ。く。小。言。と。わ。ら。せ。り。年。の。ち。と。か。の。事。れ。り  
 さい。は。な。は。法。信。と。系。よ。い。小。法。師。が。身。と。あ。半。な。れ。ぐ。た。の。と。と。れ  
 し。ゆ。法。信。の。用。の。透。よ。雲林院よ。なり。法。橋。の。法。と。ら。づ。い  
 よ。法。信。と。才。子。と。わ。く。子。は。幼。稚。や。醫。家。の。法。信。と。を。子。い。は。し  
 にも。べ。の。の。わ。り。し。り。法。信。の。子。の。男。と。な。せ。と。あ。わ。り。か。人。私  
 乃。細。と。し。申。ま。目。と。あ。と。と。前。の。お。れ。と。の。り。と。か。ら。け。る  
 とも。お。る。ゆ。く。対。面。し。母。か。ら。い。て。法。信。と。と。せ。り。法。信。と  
 と。と。い。は。し。母。の。お。れ。と。い。は。し。法。信。と。と。い。は。し。法。信。と  
 けて。は。り。と。と。と。月。と。と。わ。り。た。れ。ば。法。信。と。と。い。は。し。我  
 母。の。乳。房。と。ら。へ。し。時。を。と。し。申。ま。の。と。と。い。は。し。法。信。と  
 又。の。法。信。と。と。い。は。し。と。と。い。は。し。法。信。と。と。い。は。し。法。信。と





が母上よかれやめどなりし。も入りの仲きして今も此婦書とは。
 子をわまこもりたりしが世のたよせんの中へあすは女よんをゆり
 ともあせむ。祐佐といわへの次とわさむ。今にてんを遣下。小波多の方
 とをる秋りの合力あう。うびいれは強て根子をわすと。事をもけて
 申あつれむ。成中て扱へるむ。びりる河津ありては。右疑へるが
 しめす。そひらさ。素先年る。秋のお勢ありたのまれ。おまの依
 方申まよえは。してあつせ。討文を書てまのせ。祐佐ののれを。
 おせ。が。あつて。この由。縁。そはつめ。お秋よと。人あれど。わい。わい。まよ
 申。申。え。り。強。あ。へ。下。され。げ。縁。され。て。祐。佐。よ。の。あ。ん。も。そ。は。に。あ。
 祐の。ご。ろ。申。と。い。ひ。り。な。ま。ふ。ま。な。お。の。由。方。の。由。局。は。祐。佐。の。よ
 り。の。て。書。し。強。去。あ。ら。あ。て。あり。し。ゆ。ま。の。手。松。の。吟。味。あ。り
 時。素。が。手。は。強。だ。れ。る。こ。い。よ。り。て。不。義。の。抄。費。さ。い。す。執。事。も。と。

し人梅山の申納まをへけ付られ。此の中をころの進。幸人の男と
 かりし事。多。我。成。ら。ろ。ろ。ふ。そ。そ。也。も。我。さ。せ。科。も。ま。の。余。あ。
 て。い。あ。れ。ど。と。それ。り。今。に。お。ろ。ろ。す。年。く。多。我。り。由。合。力。さ。
 今。子。を。結。り。ゆ。ゆ。我。男。の。書。の。ら。と。せ。れ。ゆ。い。や。り。又。い。お。さ。の。
 の。縁。よ。あ。つ。て。が。後。の。由。合。力。と。存。ド。今。子。の。わ。さ。を。さ。り。ぐ。し。
 小。波。多。成。へ。と。こ。う。は。こ。も。す。け。ぐ。む。か。ら。合。力。を。後。事。に。し。
 あ。ら。ぬ。と。ぞ。ん。だ。れ。が。も。將。二。人。が。餓。死。せ。ん。事。は。ひ。ん。よ。も。ん。特。本。を。か
 ら。ず。後。と。強。さ。り。て。か。れ。む。事。後。も。あ。ら。ぬ。難。儀。と。う。ら。お。れ
 る。後。は。祐。信。へ。我。一。門。が。わ。り。て。な。た。つ。男。ら。な。も。い。は。我。女。房。の
 兼。お。ゆ。強。快。と。強。さ。り。て。し。ゆ。事。後。よ。お。ら。ぬ。難。儀。と。う。ら。お。れ
 ば。お。後。の。祐。信。より。合。力。せん。某。か。り。由。身。を。本。ま。と。れ。か。ら。ゆ。を。子
 を。ゆ。は。後。と。わ。さ。む。我。先。和。成。二。人。の。子。を。替。代。と。あ。て。あ。く。と。世

信よとて来らるるべし。早く子先と果よわづけらるるにさけり。さればとて  
難有わづらひの志可申たのともなるとか。かく祠の約と申す。申よとてさ  
らり。御三日之夜、兄才あに子こをとりま。河津が旅宿よ申して。あつて  
ぬりつうい下されと。おんごんよわたのぬ。三弟二人の子をとりて。ねん  
りや。我水と申えよ。ひ子こをいひて。こ。おささ。と。伴ともと。兄才あにのら。ぬ。ま。  
り。まら。が。家。居。と。申して。泳なぐゆくと。ま。え。ん。弟。う。ま。ん。と。ね。兄。才。の。子。た  
り。名。と。た。ら。ね。ら。る。に。兄。鬼。王。才。國。二。弟。と。り。ま。一。兄。竟。の。名。か。り  
とて。祐。泰。二。人。の。子。を。と。り。ま。境。の。盆。一。て。近。日。出。つ。ま。ご。ん。と。我。子。と  
お。か。げ。く。お。し。た。ま。へ。る。を。助。け。信。生。お。れ。ら。い。も。今。死。て。と。い。せ。よ  
ね。い。お。く。事。や。わ。り。か。さ。し。く。と。い。ま。と。て。宿。ま。ご。う。ら。る。

【第二】

傾城のいと化を旅乃生肝

付たり いひてとてけい洞の神をむきまの果

平お洞法盛と為るお樓と申す箱わづと。河津候神と申すく。神  
よ。氣。お。う。く。と。い。ま。を。は。洛。中。よ。か。れ。る。を。故。王。故。女。と。い。ら。白。拍。子。の  
舞。よ。心。の。心。も。れ。お。撲。ろ。の。心。法。と。申。て。わ。く。い。ま。ら。に。ぬ。人。の。心。の  
の。心。水。道。ぬ。ぬ。ぬ。う。う。ぬ。ぬ。の。心。心。と。申。い。た。れ。子。建。出。ゆ。り。ま。て。  
近。日。よ。平。洞。へ。ま。う。り。ま。交。交。と。も。ま。う。り。ま。れ。河。津。三。弟。祐。泰。の。弟。の  
心。一。門。へ。い。ま。ま。い。い。の。こ。す。申。り。候。神。が。傳。入。と。申。合。を。け。り。申。す。申。申。申。  
ち。ぬ。り。つ。の。事。を。申。す。右。面。の。心。ま。ま。う。り。け。り。う。ま。ち。あ。ら。り。ぬ。り。か。さ。よ  
ふ。心。と。申。わ。ゆ。ゆ。ゆ。に。野。中。よ。竹。槍。と。申。て。建。法。の。心。屋。の。中。に。か。み。さ  
か。る。申。り。ら。ぬ。女。が。神。と。申。ま。ま。い。い。面。心。う。ら。て。法。わ。ら。る。と。い。ま。七。十。よ  
あ。ま。る。老。女。つ。と。ま。い。申。り。の。心。を。申。け。る。ま。ま。案。の。誓。女。町。と。り。り。も。と。り  
方。よ。か。ら。ら。ら。ら。お。里。と。申。す。心。の。心。を。申。し。は。が。ち。ま。ら。年。代。ま。ら。り。新。宿。と。い。ふ  
病。い。と。信。目。に。ま。ま。く。あ。ぬ。親。方。ま。ま。く。療。治。と。ら。ら。ぬ。ゆ。り

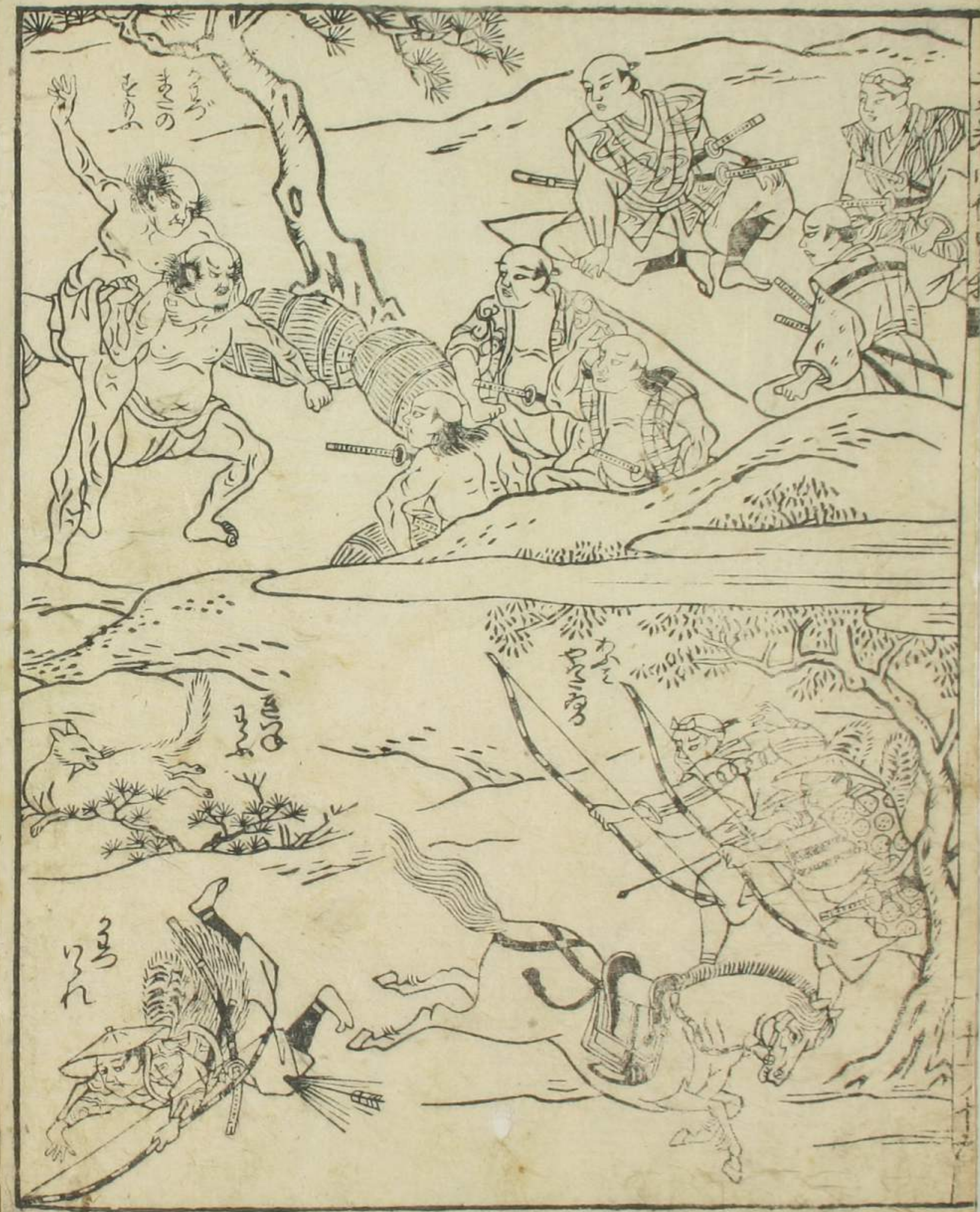




一二月ありや一與とあるく、事さうにや。候馬の奧地の特く、  
 村をぞ、事いゝ。わらうあ、事まわ、事又、道うけ、進ま、れ、  
 せ、の、ま、い、や、は、地、執、り、之、一、事、が、あ、い、ひ、言、う、一、人、を、た、か、つ、  
 せ、け、り、我、舟、列、の、執、り、と、し、び、後、官、と、ほ、つ、た、り、と、る、ぐ、れ、事、の、か、  
 り、の、一、掃、帚、の、令、婦、も、り、官、位、と、ゆ、り、さ、れ、く、一、一、ね、げ、い、け、い、の、  
 約、あ、え、へ、み、ゆ、れ、が、我、と、な、け、て、自、余、の、執、り、と、う、一、一、事、と、言、お、  
 次、と、な、せ、と、い、ひ、さ、し、け、り、と、う、さ、う、い、れ、又、掃、帚、の、掃、帚、の、み、と  
 あり、ず、執、り、二、人、と、な、と、け、り、事、思、の、殺、生、と、れ、身、と、の、が、れ、事、我、  
 と、な、と、け、て、余、の、執、り、と、う、と、さ、う、た、か、り、掃、帚、さ、う、く、ひ、さ、せ、入、り、  
 ぞ、あ、い、と、引、き、が、り、と、い、し、と、う、と、あ、い、の、い、ま、の、や、ま、ま、く、執、り、す、り、中、  
 と、な、る、事、さ、ら、う、げ、あ、ら、う、と、あ、い、と、う、や、う、あ、い、恨、つ、と、い、ま、  
 と、な、も、今、に、ね、い、さ、れ、と、事、と、事、と、あ、い、と、う、一、と、う、け、り、掃、帚、恨、ひ、と、い、ま、  
 執、り、後、た、ら、い、の、て、お、と、う、お、一、掃、帚、と、入、り、と、う、人、に、い、り、を、  
 物、の、あ、い、小、殺、の、法、と、り、の、い、ま、の、男、た、と、せ、ん、あ、い、と、く、掃、帚、  
 掃、帚、と、い、ま、あ、い、い、い、の、執、り、の、が、故、と、言、の、殺、生、と、い、の、料、と、い、  
 大、掃、帚、と、う、と、う、と、事、思、と、い、く、ん、た、ら、も、と、化、け、と、な、れ、と、い、ま、  
 と、う、一、人、と、事、掃、帚、と、う、と、う、と、事、二、と、い、ひ、と、い、か、り、す、り、と、い、  
 化、と、い、か、い、日、を、よ、う、と、う、れ、あ、い、と、海、の、の、事、と、い、ひ、い、り、人、を、い、り、  
 と、い、い、い、い、と、い、い、い、い、い、い、い、い、い、い、い、い、い、い、い、い、い、い、い、  
 と、い、  
 たり、と、い、い、一、掃、帚、と、い、い、い、い、い、い、い、い、い、い、い、い、い、  
 り、と、い、い、い、い、い、い、い、い、い、い、い、い、い、い、い、い、い、い、い、  
 掃、帚、と、い、い、い、い、い、い、い、い、い、い、い、い、い、い、い、い、い、い、  
 掃、帚、と、い、い、い、い、い、い、い、い、い、い、い、い、い、い、い、い、い、い、  
 掃、帚、と、い、い、い、い、い、い、い、い、い、い、い、い、い、い、い、い、い、い、

一、二、三、四、五、六、七、八、九、十、十一、十二、十三、十四、十五、十六、十七、十八、十九、二十、二十一、二十二、二十三、二十四、二十五、二十六、二十七、二十八、二十九、三十、三十一、三十二、三十三、三十四、三十五、三十六、三十七、三十八、三十九、四十、四十一、四十二、四十三、四十四、四十五、四十六、四十七、四十八、四十九、五十、五十一、五十二、五十三、五十四、五十五、五十六、五十七、五十八、五十九、六十、六十一、六十二、六十三、六十四、六十五、六十六、六十七、六十八、六十九、七十、七十一、七十二、七十三、七十四、七十五、七十六、七十七、七十八、七十九、八十、八十一、八十二、八十三、八十四、八十五、八十六、八十七、八十八、八十九、九十、九十一、九十二、九十三、九十四、九十五、九十六、九十七、九十八、九十九、一百、





てふ里の糸を懸けわう。若女の手もそのせられり。

才三

山崎の屋敷にいと相撲の一員

付タリ 此をよそひて奥陣の将々

世の中よ言れおとくや。悪事よいたのまねよなして後をたたく  
の理はたぐひ無きぞとて。びら後を教わたり。されば道師の小巻を後を  
あふ。結陣が肩せり。此はよくして。此のころ。河津の二島を  
いへ。舟屋のしほ仕持下。あまのそく一勝。あふとあまのたき。  
敵の方へ生捕れ却ら。と目つけし。しほとねふ。ふり。今、  
また。いふと。あつぐ。と。なれ。い。と。く。結陣より先よ。あつて。東。西。ゆり。  
結陣。あ。い。と。の。よ。ら。瓜。わ。つ。せ。あ。え。そ。て。討。た。ん。と。二。人。後。合。ま。ま。海。  
津。より。三。日。先。よ。ま。て。保。重。の。あ。つ。り。ぬ。結。陣。の。悪。計。房。が。白。快。よ。り。  
あ。の。若。ど。と。が。我。と。稱。ふ。よ。り。事。を。知。て。中。に。見。ん。一。佐。也。り。

大坊お具し候。此の事とおつ。て。系。統。を。末。の。よ。打。立。た。し。と。い。  
て。中。よ。ま。り。り。ぬ。ま。よ。お。損。出。の。侍。人。大。庭。の。事。を。家。義。の。保。重。と。  
内。縁。わ。る。由。へ。は。津。久。と。ま。家。し。て。わ。り。け。り。と。尾。し。と。双。備。よ。揚。り。  
は。は。き。り。と。ゆ。も。せ。り。と。く。り。と。と。さ。る。家。系。結。陣。が。後。の。祝。文。よ。  
ゆ。り。て。保。重。と。保。重。の。奥。陣。の。将。士。と。い。ふ。れ。ば。一。族。皆。同。  
こ。い。て。人。ど。く。あ。つ。て。へ。あ。り。り。る。ま。と。さ。ら。ぶ。中。の。結。成。士。と。保。重。  
し。と。あ。ん。と。人。と。也。し。と。大。場。馳。傳。保。重。が。被。へ。執。り。と。と。使。と。を。  
た。く。た。れ。ば。保。重。父。子。悦。び。ぬ。と。運。よ。あ。お。私。宅。よ。と。と。い。ひ。種。を。な。し。  
か。し。酒。と。も。あ。つ。る。時。大。庭。の。事。を。や。り。連。の。由。地。も。よ。奥。陣。の。藤。  
と。う。せ。て。一。款。と。も。た。ま。す。と。何。り。り。の。答。意。あ。ん。と。い。ひ。た。れ。ば。保。重。  
の。結。親。を。と。ま。て。安。ら。ら。と。よ。と。い。ふ。と。保。重。子。と。あ。つ。り。て。将。を。  
ア。さん。と。い。別。河。津。よ。下。知。り。て。婦。人。へ。獨。り。る。か。と。よ。亮。亮。の。湯。子。

一子能人有りしかりける。皆奥ひりぞとけ入る。されば海を  
小友を八幡屋の三多へ通はよまあびせり。社地が隠れあり。夜  
よわて地の海をたどり。どうい地中を神といふと、かけがえある  
こそを夜をたぐくといふ。海を尾よく仕負せ我世よまこと何のあふ  
ぬ人なよ四家もとやぶるぞと。二人づんと勵たれどもや知れぬ。大  
大見八幡いさとの御書つあよあつなり。海はと付さす計畧れ外  
他事あり。海は外を介より海つて。究竟の中と定めて事あり。  
大庭の年をうあらよよひて。伊友父子坊子と集め。伊豆奥社の  
狩とすとぬいていへび又群の中よ交り。我をも狩人の神よあて。  
あよ兼よ久一筋射Pさんと存きてい。いとはあふよ。二多うあふ。  
いーとと下らる。とまをれたるものう。もとも宜使あり。どうん  
と社地よよまとい。竹籠れて獲よつけ。白鳥の号のおはらる。とてけ。

笑くの勢ふよ打ちとれ。拍岸。徳念谷赤波が岸。猿坂。かたふ  
あつとと。どうん。どうん。い。か。と。付。と。と。伊。東。の。面。太。一。の。太。若  
あれば。家の子。鳥。若。あ。り。く。ら。う。ん。て。歩。り。多。う。わ。い。ど。容。易。付。つ。こ  
や。し。と。な。り。ら。る。と。わ。く。て。伊。東。を。摸。つ。て。く。の。岩。窟。と。り。陰。洞。と  
あ。の。心。に。あ。ま。の。歌。と。を。教。わ。り。く。ぬ。あ。て。今。の。人。を。ま。よ。幸。号。り。と。え  
拍。岸。は。集。り。舞。お。お。し。海。を。一。て。わ。た。れ。が。教。を。也。り。て。解。よ  
和。して。奥。よ。あ。ま。の。い。さ。の。あ。ま。の。中。に。血。着。は。い。ら。ん。海。口。の。い。と  
海。を。名。の。海。と。い。い。る。洞。の。下。より。海。口。と。名。付。後。つ。と。出。り。り  
と。ん。ず。の。一。度。に。地。より。三。尺。計。と。出。る。石。あり。是。を。究。竟。一。の。物。と  
つ。つ。と。あ。あ。と。石。の。み。あ。り。人。の。形。を。あ。ま。の。い。さ。の。い。さ。の。い。さ。の。い。さ。  
着。よ。ま。の。け。て。わ。り。を。い。ろ。く。と。あ。ま。の。い。さ。の。い。さ。の。い。さ。の。い。さ。の。い。さ。  
つ。と。く。れ。ば。海。二。三。尺。間。と。い。ひ。ま。で。石。の。谷。底。へ。と。あ。う。り。り。海。を。名。

とぞおて相もく。海にあらし。ちり揚がる。力。東分。ま。あて。又  
た。い。と。あ。ぶ。ず。これ。集。あ。想。よ。は。に。将。漢。の。ゆ。り。ふ。か。か。ど  
お。撲。と。ぬ。成。力。校。あ。ど。と。も。真。と。あ。り。ま。今。と。あ。り。と。ど。い。せ。か  
く。く。い。ま。あ。く。い。ま。の。海。に。膝。あ。る。ふ。さ。あ。し。新。同。と。ま。ん。と  
い。え。れ。ば。老。あ。き。よ。酒。良。て。想。べ。い。と。同。ド。ろ。を。付。去。犯。え。年  
中。々。へ。海。口。後。と。藍。派。ぶ。お。は。よ。あ。る。べ。い。あ。ん。と。あ。た。ま。う。と。い。ま  
は。海。口。安。く。東。國。よ。あ。て。力。け。ん。へ。内。出。へ。世。い。わ。ひ。さ。あ。の。い。お。ま。に  
あ。わ。ま。り。で。し。も。い。へ。あ。り。い。ら。い。わ。い。て。へ。一。数。さ。り。い。さ。り。と。廣。え。出。て  
力。足。と。あ。い。な。よ。わ。い。さ。い。後。よ。ま。う。の。力。自。勝。と。う。九。平。の。老。事。あ。り。  
一。の。今日。の。真。よ。ま。お。て。あ。き。ぐ。あ。い。の。し。や。あ。ん。と。お。り。あ。る。と。海。老。名  
固。ま。入。て。え。り。お。撲。の。時。の。真。負。う。と。揚。も。慰。て。強。い。い。て。日。傳。を。い  
ま。な。ふ。お。想。と。て。お。撲。か。ん。り。な。わ。げ。ら。る。も。た。や。り。な。れ。先。に。い。け。い。

い。ぬ。人。始。た。ま。う。と。ぬ。お。と。金。を。く。れ。海。は。あ。い。さ。い。と。あ。ぐ。せ。り。合。け。ら。か  
藍。派。つ。あ。お。負。て。が。り。ま。府。舎。見。あ。あ。つ。て。お。ま。ま。と。同。ド。く。負。を。れ。ば  
想。伝。の。古。事。重。治。二。人。の。牙。と。眼。あ。い。ま。げ。な。あ。あ。う。す。あ。い。ひ。修。の  
細。と。う。ら。れ。あ。と。さ。ふ。引。切。て。ま。り。出。さ。と。あ。事。考。と。つ。く。揚。り。て。海  
口。が。新。美。の。お。と。あ。う。ら。ふ。う。ら。け。や。ど。い。海。に。と。た。た。の。春。と。あ。ら。り  
ま。け。い。ま。り。じ。と。授。合。を。れ。は。申。く。お。撲。と。へ。ん。へ。さ。り。を。後。七。多。ト  
よ。い。へ。て。終。は。海。口。は。揚。て。が。り。い。よ。い。ら。が。ど。負。て。と。ら。う。す。ま。え  
お。ま。ま。と。う。ら。ふ。う。ら。が。ど。い。健。切。の。老。と。よ。つ。い。て。お。ま。ま。修。れ。れ。は。れ  
し。り。お。撲。募。つ。て。東。國。よ。名。と。わ。ら。る。り。力。量。の。ま。ま。入。り。り。り。く  
と。後。二。三。つ。げ。揚。り。て。名。の。中。よ。僕。建。乃。あ。あ。は。る。だ。り。ゆ。り  
る。く。力。業。と。せ。び。し。て。我。力。の。お。あ。り。あ。ら。わ。ら。り。た。り。い。ま。れ。い。ら。る  
べ。い。と。今。ま。ま。い。ひ。う。へ。い。あ。り。り。い。が。え。あ。と。け。ら。れ。と。小。彌。り。て

二之巻の加島日記





一最はゆへと知しこれに侍の僕也が志ある事とふりてたゞ我力  
 下さる侍れがとくおもし見控と侍てへ事さあざとすまぬを僕  
 我は侍がらとさきにて。一最はこれお摺もさうさめ候の侍負と。初  
 場よりさすさかきふさくは先か免れなると。侍つてさあざとさう  
 何とさな僕侍はと帯ひすとついで。目よりさうくしわけな  
 何侍はささき一の僕也が股よりさしと侍侍をさくさうわけさ  
 候つて場中さうとあげさうあげられ侍津づつんと立僕也はわ  
 のけはささきとこけぬは。薩摩のくくさあけ。やくせり侍  
 今日の内お摺とともあんと。かしらとさあざらぐ。なはささきなり。是  
 して侍津とよお摺の二つ御らる。お摺ともはさあざらぐ。さあ  
 ゆんとこのさす侍たら。取巻の用ささきとせられ。

【才也】

一合の先は余のつらさ

村タリ  
長持の巻さかい分付袋

大見八様侍人の折よなつて大場は若子の中よまぶれ侍。赤親  
 子と神よとさきと。一最は深かえればさあねんとけり。先にお  
 侍祐親おやまがゆりなとねるん。さう前のお家内いさつ。若の  
 細橋進まの通病と見ること。さあねけて。赤はこれ。八様八様の  
 向う尾崎よむのて。推本三平。橋よきて。鋒矢つひ今やくと。侍  
 取よ。さあねの平と。始海を名云。侍助らんと。あざとさうで  
 とさうをなつ。さう。一最は侍もよは。三命。祐泰侍お家来。上竹並  
 さう。山さう。羽つけ。さあ。麻矢と。負。若友のり。お。宿。鶴。先。さあ。その  
 ちく。た。さ。さ。さ。に。お。の。り。魚。ら。酒。席。席。が。白。ゆ。う。と。我。と。ね。さ。若。の  
 あ。さ。さ。さ。さ。実。居。ま。の。侍。時。油。改。せ。は。八。方。目。さ。さ。さ。り。あ。さ。さ。さ  
 さ。の。船。よ。さ。さ。さ。さ。さ。ま。射。て。お。さ。え。ん。氣。文。大。見。八。様。本。座。り

乃てこれに一程縁をたもたう方の松陰より船昇りて射  
 ぬらする。机の七祀服というは汁をたこあむと。さうせんをり  
 畜生わたらと交るのでつぶらなる方よいへへ一丈見かまひ  
 一と悦び。文の滑交るがた。のて丁どまの。びぎんやけはちの  
 方へ同とつらむ。元の化生よりかつけておさうなれば。敵の矢つが  
 たふすまろ。只中をのこし。いひ移んや。たをえうし。おさうなる矢所  
 つぐんとをたれ。たを難儀の痛みなれば。氣力なへて。矢通しをもち  
 たりける。即ち九難をとりつて。敵をたつらう。深山松栢をわ  
 てへん。これかなく。きりぬいて。そ。氣力をこいへる。たを  
 むりける。いづこよ。あ。一。人。松へ。い。り。て。父。の。祐。親。を。か。く。  
 の。ハ。ス。ま。よ。お。さ。う。ん。と。肥。三。浦。を。り。り。と。よ。さ。さ。一。う。ん。よ。う。け。を。祐  
 泰。が。伏。す。る。西。へ。ま。の。て。き。る。ま。ら。う。と。て。お。り。こ。ん。で。お。り。ま。は。大。事。な。ら。う。と。

さいこれとて。さうに。き。る。ま。ら。う。と。て。お。り。こ。ん。で。お。り。ま。は。大。事。な。ら。う。と。  
 の。ハ。ス。ま。よ。お。さ。う。ん。と。肥。三。浦。を。り。り。と。よ。さ。さ。一。う。ん。よ。う。け。を。祐  
 泰。が。伏。す。る。西。へ。ま。の。て。き。る。ま。ら。う。と。て。お。り。こ。ん。で。お。り。ま。は。大。事。な。ら。う。と。  
 大。勢。の。高。下。へ。い。ち。さ。う。と。源。内。に。居。る。れ。い。わ。い。と。さ。う。と。  
 机。の。七。祀。服。と。い。ふ。は。汁。の。本。法。より。矢。の。身。り。て。く。ち。り。ゆ。ぶ。  
 と。い。ふ。の。と。あ。ら。う。て。機。よ。何。者。れ。と。い。ふ。事。を。た。れ。ど。通。へ。伊。東。貞。因。  
 と。ら。ま。ら。う。と。さ。う。に。い。ぬ。機。も。わ。る。た。だ。い。は。情。を。わ。ら。れ。る。機。  
 よ。か。く。て。い。は。始。終。と。い。ま。ま。と。云。把。三。浦。に。せ。つ。け。祐。春。を。下。へ。さ。し。う。こ。  
 とい。う。を。あ。ら。う。と。い。ふ。と。下。り。て。伊。東。が。敵。へ。送。り。ぬ。書。を。子。春。を。屬。勢。院。  
 と。い。ふ。と。は。ま。ぐ。看。病。と。い。ふ。に。伊。東。に。あり。の。事。り。と。久。一。時。祐。泰。服。  
 とい。う。と。敵。へ。工。敵。祐。院。を。り。我。を。射。ら。る。を。も。の。の。勢。者。を。か。か。し。  
 母。を。馬。ゆ。り。見。身。小。者。を。さ。さ。り。高。あ。む。し。ま。れ。の。や。め。ら。う。と。さ。う。  
 ら。と。あ。ら。う。と。の。い。は。及。敵。より。い。ま。う。め。あ。ら。ぬ。勢。院。と。い。ふ。事。の。う。ち。ね。  
 あり。の。事。は。も。と。目。よ。さ。し。あ。人。の。と。を。ま。の。と。さ。う。ゆ。べ。一。旦。又。書。女。い。へ。







